

委員会議事概要

1 委員会名	令和5年度 第7回沖縄海区漁業調整委員会
2 開催日時	令和5年10月13日(金) 14:00~15:11
3 開催場所	県庁6階第2特別会議室
4 出席委員 (定数15名中12名)	<p>(会場) 上原亀一会長、赤嶺博之委員、池田 博委員、当真 聡委員、伊良波宏紀委員、大嶺嘉昭委員、八前隆一委員、城間恒浩委員、大谷 健太郎委員、新立弘子委員</p> <p>(WEB) 藤田喜久委員、山川彩子委員</p> <p>(欠席) 大城和夫委員、山内得信委員、天方 徹委員</p>
5 議事録署名人	伊良波宏紀委員、大嶺嘉昭委員
6 議事内容	
(1) 第1号議案	ウミガメの採捕承認申請について
【要旨】	試験研究目的でのウミガメ類の採捕承認申請が、黒島研究所、水産技術研究所および久米島町商工観光課から計3件あり、いずれも原案通り承認された。
【特記事項】	久米島町商工観光課の採捕承認は、衰弱保護を目的としているため、回復後は速やかに放流する旨条件を附した。
(2) 第2号議案	浮魚礁の承認申請について
【要旨】	流失および更新による再敷設の申請が計3基(港川漁協1基及び県中層パヤオ2基)あり、原案通り承認された。また、委員会指示違反(報告書等の未提出)に対する警告文書の発出についても原案通り承認された。
【特記事項】	令和4年度に流失した港川9号の再敷設にあたっては、委員会で承認を受ける前に敷設していたことから、所定の手続きに違反しており、委員会から警告文書を発出することとなった。
(3) 第3号議案	マチ類資源の保護培養に関する委員会指示違反について
【要旨】	沖縄海区漁業調整委員会指示5第2号に定めるマチ類資源保護区である北タイキウソネ区域内における違反操業について、委員会から

	違反者あてに警告文書を発出すること、所属漁協に対して指導依頼文書を発出する事務局案について、原案通り承認された。
【特記事項】	特になし。
(4) 第4号議案	知事許可漁業の許可に係る制限措置等の公示案について
【要旨】	沖縄県漁業調整規則に定める知事許可漁業について、その許可に係る制限措置（許可数、期間、海域等）に関する知事からの諮問について、異議ない旨答申する事務局案が原案通り承認された。
【特記事項】	許可等をすべき数を管理する漁業について、許可数を上回る申請があった際の審査基準について質問があったため（城間委員）、資料（知事許可漁業の許可の基準：令和2年12月2日）を追加して説明した。
(3) 協議事項1	ソデイカの操業に関する周知文書について
【要旨】	奄美大島海区におけるソデイカ漁業の操業に関する注意喚起文書と、当該海域で操業する際の無線による船間連絡体制構築に関する周知文書案について、文章の内容に関する協議をおこなった。また、協議の上、当該文書を県内漁協あてに発出することについて了承を得た。
【特記事項】	漁期の制限による資源管理効果について、研究データに基づいて漁業者に説明できるよう研究機関に求める意見があった（当真委員）。 奄美との漁期に関する調整について、奄美大島海区の委員会指示は沖縄海区よりも早い時期に協議・発動されることから、漁期の終了を待たず、奄美大島海区とは調整を図っていくよう意見があった（八前委員）。
(4) 報告事項1	令和5年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の提出議題について
【要旨】	前回の委員会において、標記会議の議案とすることを諮った「太平洋クロマグロ（大型魚）の適正な資源管理について」、「日台漁業取決めの見直しについて」、「日中漁業協定の見直しについて」および「違法操業の取締強化に向けた対応について」の4件について、提案議案一覧資料に記載がある旨報告した。

【特記事項】	特になし。
(5)報告事項2	沖縄県資源管理方針の改正について
【要旨】	令和2年の漁業法改正に関係して改正することとなった沖縄県資源管理方針の改正概要と、今後のスケジュールについて報告した。
【特記事項】	特になし。